

令和4年度 森のいえはまきた事業報告

社会福祉法人雄気の里会
幼保連携型認定こども園

森のいえはまきた

1. 在園児数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
5歳児	27	27	27	27	26	26	26	26	26	26	26	26
4歳児	26	26	25	25	25	25	26	26	26	26	26	26
3歳児	25	25	25	25	24	24	24	24	24	24	24	24
2歳児	18	18	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18
1歳児	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
0歳児	7	8	9	10	10	11	11	12	14	14	15	15
合計	119	120	119	121	119	120	121	122	124	124	125	125

2. 課外授業

学研教室 7名 / ECC 23名 受講

3. 年間行事

4月 入園式 引き渡し訓練

5月 親子遠足 内科健診 地域交流※ 移動環境教室（5歳児）

6月 歯科健診 ジュビロ磐田運動遊び教室 参観懇談会 地域交流※ 交通教室（4・5歳児）

7月 七夕会 プール開き

8月 防犯教室

9月 ジュビロ磐田運動遊び教室（4・5歳児） 地域交流（5歳児）※

10月 運動会 内科健診 ちびっこキッチン（5歳児） 交通教室（4・5歳児）

11月 地域交流※ 個別面談（5歳児） 園外保育

12月 生活お披露目会 クリスマス会 ダメ！たばこ教室（5歳児）

1月 交通教室 ジュビロ磐田運動遊び教室（4・5歳児）

2月 豆まき 懇談会 交通教室（5歳児）

3月 ひな祭り会 卒園遠足（5歳児） 卒園式

※ デイケア施設への訪問を予定していたが、新型コロナウイルス感染予防のため中止とした。

新型コロナウイルス感染症による制限もある中でも行事を行うことができた。今年度から5歳児クラスに限り就学に向けて全保護者対象とし個別面談を行った。担任と保護者とで面談を行うことで、就学に向けての課題を共有することができた。

4. 令和4年度重点目標

(1) 感染症対策

新型コロナウイルス感染症に罹患した園児、職員、ご家族の濃厚接触者となった園児、職員が多く発生した1年間であったが、そのうち、園内で感染したと考えられる事例は4例あった。日頃から感染予防のため、玩具や机、床、トイレ等の消毒を行っており、多くの感染者があったにもかかわらず、園内での感染拡大は最小限に抑えられたと感じている。しかし、全国的にも手足口病が

流行した9月に、計11名の園児が罹患し、浜松市幼児教育保育課、浜松市保健所へ報告をした。新型コロナウイルス感染症だけでなくその他の感染症拡大予防のためにも、引き続き園内の消毒等、感染対策を徹底していきたい。

行事は、感染予防対策を図りつつ、可能な限り通常と同じような形での開催を心掛け、運動会についても保護者参加型の運動会を開園後初めて行うことができた。今後も感染症の心配が完全になくなったわけではない中で行事の実施方法等検討を重ねていきたい。

(2) 小学校との接続

5歳児クラス26名のうち、発達面での支援が必要なため医療や児童発達支援施設の介入がある園児が5名、そのうちADHDや自閉スペクトラム症の診断を受けている園児が2名、医療等の介入はないが支援が必要と思われる園児が8名在籍していた。環境変化が苦手な園児が多く、小学校への期待感を持つ子が多い一方で、未知の世界へ進むことへの不安感を抱く子もおり、そのうちの一人の園児が就学時健診や小学校区交流会等で小学校へ行くたびに不安な思いを爆発させていた。担任も就学に向けての話を控えたり、不安が強い時には個別に対応したりすることで少しずつ落ち着いて園生活を送ることができるようになった。もちろん小学校へも配慮が必要な園児の情報は細かく伝え卒園を迎えた。しかし、小学校入学後に様々な問題行動があると小学校から連絡をいただき、ケース会議が開かれた。新しい環境となったことで私たち職員も予想してなかった表れがあり、大きな変化となる卒園→就学に向け、園としてももう少し何かできたのではないかと課題が残る。

毎年配慮が必要な子も複数在園しており、小学校との接続は今後も大切となる。園児の様子を口頭で伝えるだけでなく実際に見て頂いたり、事前に小学校の様子を個別に見せていただいたり小学校の教員と連携をとり、子どもにとって負担の少ない変化としていきたい。